



## ロータリーを通じて 世界理解と平和を

WORLD UNDERSTANDING & PEACE THROUGH ROTARY



会長 新穂光一郎 幹事 藤川享胤 副会長・クラブ奉仕 内山喜一 職業奉仕 高岸三雄 社会奉仕 川村徳男 国際奉仕 斎藤利男 青少年奉仕 佐藤順治

出席報告：会員 72名 出席 59名 出席率 81.94% 前回出席率 80.56% 修正出席 67名 確定出席率 93.06%

### 米山記念奨学会週間について

国際ロータリー253地区ガバナーノミニール 石黒慶之助君

米山週間は10月1日～7日の週間であり、その期間の例会において、何か米山梅吉先生について、或いは米山記念奨学会について会員の関心を高める行事を行うことになっています。

皆様ご承知の通り米山梅吉先生は大正9年(1920年)に東京ロータリークラブが日本で初めて誕生した時のクラブ会長であります。現在、世界第2のロータリー大国となったロータリーの生みの親と云っても過言ではありません。ロータリーの日本での普及の先駆者であります。Service above self = 超我の奉仕 = 米山梅吉 “自我に先立つサービス” 昭和28年東京R.Cが米山ファンドとして発足した奨学会は現在、財団法人ロータリー米山記念奨学会として文部省の認可を得て、民間の奨学会としては国内最大の財団になっております。米山週間は最近まで先生の命日である4月28日を含む週を当てていたのですが、R.Iの雑誌週間が4月19日～25日と指定され、天皇誕生日などの祭日、その他の行事と重複するので10月1日～7日に変更されました。

わが国へ国際ロータリーを導入した米山梅吉という人はどんな方であるか？ 慶応4年2月4日、東京・芝・田村町の武家屋敷で、高取藩主和田竹蔵の3男として生まれました。4才の時父が他界したので伊豆の三島へ移った。それは母(うた)が伊豆三島神社の宮司・日比谷氏の娘だったからであります。小学校は駿河国・駿東郡長泉村の映雪舎で学んだ。学業は成績抜群であったようです。その土地の名主をつとめた旧家、米山藤三郎の養子に懇望され12才で、米山梅吉と姓が変わった。しかしまだ入籍していない。14才になって沼津中学校に入学し、英語・漢文・数学を身につけた。16才になって、青雲の志を抱き、無断で家出した。沼津から横浜まで一人で歩き、横浜から汽車で東京へ出ました。銀座の江南学校へ移り、更に土居光華先生の塾に移りました。米山少年は親からの資金援助を受けることなく、学僕しながら勉強した。アメリカではスクールボーイをしながら大学へ通えること聞き、米国留学の決意を固めたのもこの頃からです。彼はそのため昼間は勤めに出て、夜は銀座の福音英語学校へ通って渡米の準備をすすめた。

19才の時、青山の東京英和学校(青山学院の前身)に入学、米人ニコールバックについての英会話、本多庸一先生よりのキリスト教的教育を受けたが、これが彼の将来に大きな影響を及ぼしています。梅吉少年は明治20年10月6日改めて米山家へ入籍する。そして21才の時アメリカへ渡ることが出来た。米国では福音会というメソジスト派の伝導機関に身を寄せ、ここで種々教導を受け、カリフォルニア州ペルモント・アカデミーに入りスクールボーイをやりながら大学進学への準備をします。将来神学伝導を推められたが彼はこれを断わりオハイオ州のウェスレアン大学へ入学、更にニューヨークのローチェスター大学へ転校します。すべて学資を稼ぎながらの勉強であったそうです。

明治28年、米国で8年間の勉強を終えて帰朝する。先ず新聞記者を志す。福沢諭吉の時事新報が第一段であるが当時発行部数も少なく待遇もよくないので断念し、自分で「提督ベルリ」を博文館から発刊する。その題字を勝海舟に書いてもらう。日本鉄道会社に就職したが薄給で結婚も出来ない。29才の時、藤田四郎氏や井上馨侯爵の肝入りで三井銀行へ入社することが出来ました。彼はここで初めて生活が安定します。その頃春子夫人と長女愛子さんの3人で家庭を持つ。銀行から彼の有能な才覚と国際性の視野が認められ、入社間もなく神戸支店次席、更に神田支店次席と昇進し、欧米銀行業務視察の出張命令を受ける(約1年2ヶ月間)。35才で支店長に抜擢され、更に40才で大阪支店長兼取締役となります。

大正2年46才の時第3回の外遊(ンベリヤ経由パリ行)し帰朝後、外資導入、外国課新設、為替業務開始する。大正6年(1917)50才、政府の財政経済視察団々員として渡米、この時テキサス州ダラスで三井物産の支店長福島喜三次氏と知り合い、共に正月を迎えます。福島喜三次氏はダラスR.C会員であり、彼に国際ロータリーのお話を聞き、何んとか日本にもロータリーを作りたいと考えた。R.I本部でも日本にロータリークラブを作りたい気運であったので2人で日本へロータリーを作ろうと考案をねる。その後3年にして、よくやる東京R.Cが誕生する。

その初代会長が米山梅吉氏、初代幹事が福島喜三次氏に内定し大正9年(1920年)チャーターメンバー24名で発会しました。今から60年前の10月20日であります。現在353名の会員を持っています。米山さんは初めてのロータリアンの選考に当っては、各職種毎に超一流の人物を選んだ。これが今日までの日本のロータリークラブでは増強については量よりも質という考えに定着させたと思っています。

庄内に空港を建設しましょう

## ひとりごと



小松 広穂 君

余程名前だけ書いて白紙の原稿を出そうかと思ったが、石井会報委員長の顔がチラチラしてそれも出来ない。地区副幹事なんて引き受けた処4月より地区大会迄郡山(ガバナー事務所のある所)に通う事6回、その為ロータリーの事なんかわからない女房にはこれ(小指)が出来たのではないかと疑われロータリウイドウと嘆かれ、まことに具合が悪い。

これから一年半も続くかと思うと、「時間を捧げよう奉仕の為に」と誰かが言われたが難しい事だ。



ロータリーは人々の  
心に受け入れられるか

三井 徹 君

此の度の3地区連合地区大会で、4年振りに岩谷堂 R.C の北條公則君と会って、ゆっくり話すことが出来て楽しかった。彼が努力して設立した江刺高校 I.C は10年以上経った今も60名定員満杯で沢山の希望者を制限しているという盛況である。此れは彼が先生にも生徒にもロータリーを頒ち続けて、受け入れられた結果である。私よりも年上に見えるが、益々元気で情熱を持って活動している。当地区の I.C が今年度は第252地区の彼の処へ研修に行くことになった。ロータリーは実践しなければ価値が生まれえない。

## 会長報告



○鶴岡市姉妹都市アメリカ・ニューブランズ市長訪日歓迎夕食会に出席。

1981.10.4 ホテルオータニ・タワー40Fバルゴにてニューブランズ・ウィック市長、ラトガース大学長等を囲む晩餐会が鶴岡市長主催で行われた。

出席者 市長ジョン・A.リンチ、学長エドワード・J.ブルースタイン、加藤紘一代議士、建築家ドーン・ガタルツ、斎藤市長、佐藤議長、山形新聞社、その他

## 幹事報告

- 各クラブの例会変更のお知らせ。
- 国際障害者年記念県民の集い開催について11月6日(金)山形市・山形厚生年金休暇センターにてご出席を乞う。
- 社会奉仕研究会開催について  
10月24日(土)山形市あこや会館にて13時点鐘、登録料2,000円  
出席義務者はクラブの社会奉仕委員長並びに3年未満の会員より1名以上。
- 第3回クラブ協議会開催  
10月20日(火)4時産業会館前発場所三瀬・琴平荘、登録料3,000円
- 理事会決議  
新入会員吉田、松田両君 S.A.A に所属決定
- 次回(10月13日(火)) 例会は職場訪問はNHK鶴岡放送局12:30分
- 今日の米山週間の募金は14,276円

## 親睦活動

親睦活動委員会

- 当クラブ会員早坂源四郎君、市政功労者表彰!!  
10月1日鶴岡市の市制施行記念日に於て「商工業の振興に寄与」の功績により表彰されました
- 当クラブ会員三井健君「市民の森の会」を代表して感謝状の表彰!! 「市の木一庄内柿、けやき 市の花一さくら」と決定
- 10月25日遊佐 R.C 合同例会、兼ねて会員家族親睦会開催、多数で参加をお願いします。
- 9月30日石川寿男会員、栗生島で1尺4寸5分の黒鯛を釣り上げた(スマイル)
- 会員誕生  
秋野君、石井君、石川君、川村君、中江君、佐藤(元)君、富樫君、山口君、吉田君  
奥様誕生  
石井博子様、池田絢子様(弘)、三浦明子様、斎藤脩子様(得四郎)、佐藤登久子様(昇)、佐藤康江様(元伸)、鈴木須美子様(弥一郎)、玉城常磐様、山内キミ様

## 出席委員会

- 9月 225% 1名 石黒慶之助君
- 9月 200% 1名 新穂光一郎君
- 9月 175% 3名 張君、藤川君、市川君
- 9月 150% 5名 125% 9名 100% 39名

## ビジター

(鶴岡西 R.C) 菅原松雄君、八幡慶二君、加藤有倫君

## 10月(神無月)の暦

- 10月1日(木) 鶴岡市市制57周年記念
- 10日(土) 体育の日
- 10日(土) 国際障害者年、障害者福祉都市指定
- 12日(月) 記念行事、作品展会場中央公民館
- 13日(火) 職場訪問例会 NHK鶴岡放送局
- 17日(土) 庄内分区ゴルフ大会 湯の浜 C.C
- 18日(日) 第27回鶴岡市駅伝競走大会
- 20日(火) 第3回クラブ協議会 三瀬・琴平荘
- 25日(日) 遊佐クラブ合同例会
- ※「お願いいたします赤い羽根共同募金運動」  
10月1日から

(今週担当 早坂重雄)